



# 所沢市市民医療センター 再整備事業説明会

令和5年8月5日（土）  
所沢市役所 8階大会議室

## 本日は説明させていただく内容

2

- 市民医療センターの概要
- 再整備に向けた基本的な考え方
- 新病院での診療機能
- 経営強化プラン
- 新病院建替計画
- 再整備スケジュール

## 市民医療センターの概要（基本的事項）

3

所在地	埼玉県所沢市上安松1224番地の1
構造	鉄筋コンクリート造・地下1階 地上3階
開設	昭和51年9月1日
診療科目	内科、循環器内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、小児科、放射線科
健診事業	人間ドック検診、生活習慣病検診、特定健康診査、その他法律に基づく健診（日本総合健診医学会による優良総合健診施設認定取得）
許可病床	一般49床（急性期病床38床、地域包括ケア病床11床） ※令和5年7月31日現在
主な医療機器	CT、X線撮影装置、乳房X線撮影装置（マンモグラフィ）、内視鏡（胃カメラ、大腸カメラ）、超音波画像診断装置（エコー）、自動遺伝子解析装置（PCR検査）

## 市民医療センターの概要（診療機能）

4

入院	【急性期病床】 発症直後など、病状が不安定な時期（急性期）に集中的な治療を行う 【地域包括ケア病床】 急性期を過ぎた後（回復期）に、すぐに自宅や施設へ戻ることに不安のある方に対して、在宅復帰に向けたリハビリなどを行う
外来（標榜診療科）	内科、循環器内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、小児科、放射線科 6科
小児科	一般外来（午前・午後）のほか、神経発達相談外来や夜尿症外来等を実施
夜間急患診療	平日（19:30～22:15）・土日・祝休日（18:00～20:45）の初期救急
深夜急患診療	平日（月・木除く）・土日・祝休日の深夜（夜間急患診療後～翌7:00）の初期救急
休日急患	日曜日・祝休日（10:00-11:30、14:00-16:30）

## 建替えによる再整備が必要な理由

5

昭和51年(1976年)  
市民医療センター建設



令和5年(2023年)  
築46年経過



施設・設備が老朽化しているため 建替え が必要

## 公立病院の再編統合から経営強化へ

6

### 再編統合

＜公立病院の経営状況の悪化＞

- ・医師・看護師等の不足と偏在
- ・政策的に不採算医療を中心に担っている病院が多い

令和元年9月、厚生労働省が再編・統合の議論が特に必要な病院として、市民医療センターを含む424病院を公表

### 新型コロナ

新型コロナウイルス感染症対応において、公立病院が中核的な役割を果たし、公立病院の果たす役割の重要性が見直された。

持続可能な地域医療提供体制を確保するため、公立病院の経営を強化していくことが重要。

### 経営強化

令和4年3月 総務省が公立病院経営強化ガイドラインを策定  
→地域医療機関との機能分化・連携強化、感染症への平時からの備えが重要



# 再整備基本計画の流れ

区分	主な内容	検討の進め方
令和3年度末 再整備基本構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院を取り巻く環境分析</li> <li>・今後のあり方 (診療機能の基本方針の検討)</li> </ul>	市民アンケート・市民意識調査の結果や各種委員会における審議を踏まえて策定
令和4～5年度 再整備基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定の考え方(基本方針)</li> <li>・施設整備計画</li> <li>・部門別計画</li> <li>・事業収支計画</li> </ul>	基本構想の内容をもとに、国の公立病院に関する考え方の変化も踏まえ、地域にお住まいの方への説明会、本日の説明会、パブリックコメントなどを経て、令和5年度中に策定予定

# 再整備の方向性（その1）

課題	現在の状況	再整備後の方向性
施設・設備の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水回りなど修繕の頻発</li> <li>●電源容量等の不足</li> <li>●視認性や動線に課題のある病棟構造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■現在地での建替え</li> <li>■利用していただきやすい病院へ</li> <li>■バリアフリーや環境に配慮した施設に</li> </ul>
医療需要・市民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者人口の増加に伴う内科系疾患の需要増</li> <li>●小児初期救急体制の継続</li> <li>●健診部門への市民からの高いニーズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基本的に現在の診療体制を継続</li> <li>■医療需要に対応するため病床数(49床)を維持</li> <li>■1年365日の小児初期救急体制の継続</li> <li>■「健幸長寿のまち」実現に貢献する健診部門継続</li> </ul>

課題	現在の状況	再整備後の方向性
感染症対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発熱外来設置</li> <li>●アフターコロナ患者の入院受入</li> <li>●陽性患者の入院受入を開始（※5類感染症 移行後）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平時から感染症対応に備えた病棟構造                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーニング可能な設計、陰圧室の整備</li> <li>・複数動線の確保 など</li> </ul> </li> </ul>
災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震性能あり（平成13年に耐震補強工事）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害発生時に備えた施設や備品の整備</li> <li>■近隣で被災した住民を受入れる体制整備</li> </ul>

現在の状況・課題		新病院
初期救急	1年365日実施	<p>「日本一、子どもを大切にするマチ所沢」の実現に向け、大型連休や年末年始も含めた1年365日の初期救急体制を継続します</p> 
夜間の1泊入院	連携医療機関に搬送して対応	<p>子どもと保護者の安心や心身にかかる負担軽減のため、夜間急患診療時の1泊入院の実施を検討します</p> 

## 現在の状況・課題

人間ドック・ 特定健診	年間 約1万人 の利用実績
利用予約	電話予約
結果通知	郵送での結果通知
女性利用者 への配慮	レディースデーの 開催(月1回)

## 新病院

「健幸長寿のまち」の実現に向け、人間ドック・特定健診等は、現状の運営を継続します

WEB予約や健診結果のWEB配信などの導入を進め、より一層使いやすい施設を目指します

女性職員のみで対応する  
レディースデーの継続や、  
レディースゾーンを設置します



## 現在の状況・課題

発熱外来	プレハブや駐車場 での対応(※5類 感染症移行まで)
病棟での 感染対応	陰圧室(簡易)のみ ゾーニングが困難
動線分離	感染者と非感染者 の動線が交錯

## 新病院

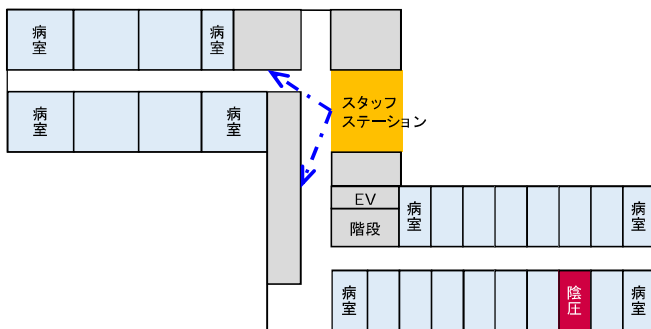
安全に感染症対応に当たれるよう、発熱外来を院内に設置し、利用者・職員の負担軽減や労働環境を向上します。

病棟に陰圧切替可能な個室を複数整備します。感染拡大時には対応エリアを拡張して感染者の受け入れができるように、明確なゾーニングができる病棟を整備します。

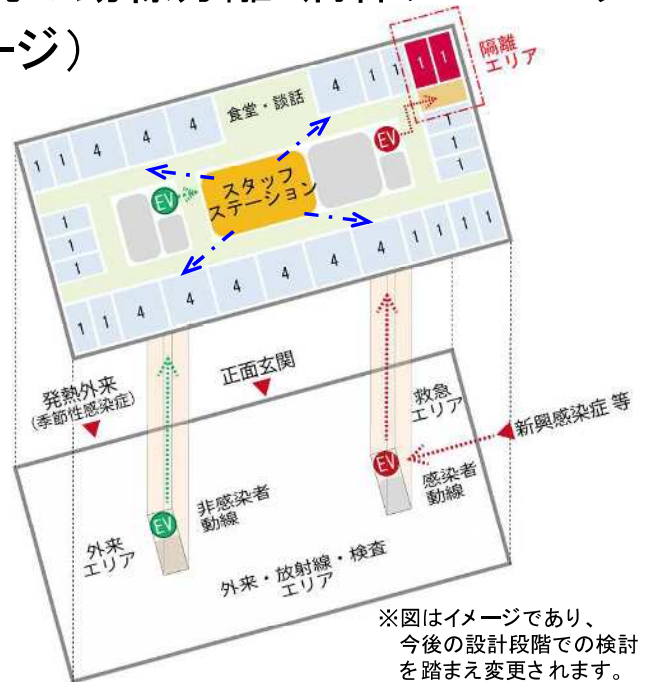
感染者と非感染者の動線をできる限り分離できるように複数動線を確保します。平時にも使いやすい病院を整備します。

## 現在の状況・課題

- ・スタッフステーションから病室が見通せない
- ・感染患者と非感染患者の動線分離が困難



## 新病院の動線分離・病棟ゾーニング (イメージ)



※図はイメージであり、今後の設計段階での検討を踏まえ変更されます。

# 経営強化プランの策定

国が示した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に沿って経営強化プランを策定

項目

- 役割・機能の最適化と連携の強化
- 医師・看護師等の確保と働き方改革
- 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組み
- 経営形態の見直し
- 施設・設備の最適化
- 経営の効率化等

現病院

R6  
～  
R9

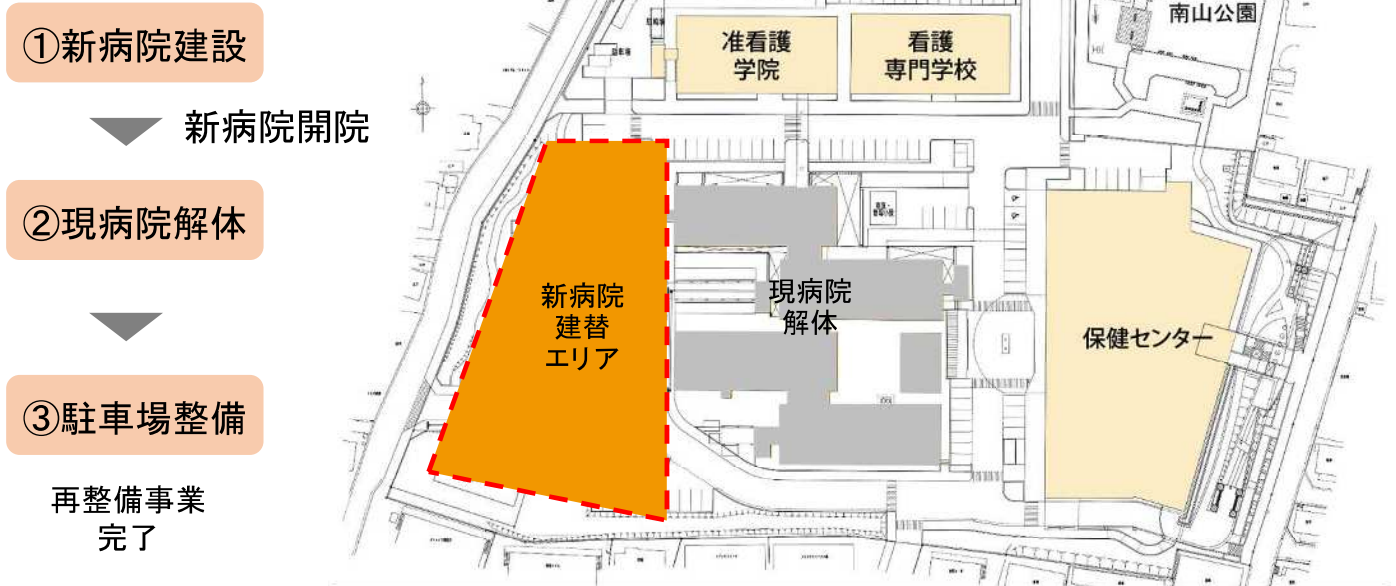
- ・市民医療センターの役割を果たしつつ、地域医療機関との連携の強化
- ・電子カルテの導入など、適切なデジタル投資

新病院

R10～  
(予定)

- ・現病院での取り組み内容の継続、発展
- ・病床利用率の向上などによる収益性のアップ
- ・医師・看護師等の確保

西側駐車場付近を「新病院建替エリア」として検討を進めています。



## 新病院整備に係る概算事業費

延べ床面積

約6,000㎡  
(基本計画段階での想定面積)

階数

3階建て  
(現在の高さを超えることはありません)

構造

耐震構造  
(詳細な構造計画は設計段階)

工事費

約42.8億円  
(設計・工事監理等を含む)

※近年、建設業界の人手不足やコロナ後の建設需要の増加等により、建設工事費が上昇傾向にあるため、工事費は変更となる可能性があります。  
また、上記工事費のほか、医療機器および電子カルテシステム等の導入費用が必要となります。



## 令和5年度中の基本計画策定スケジュール

17

市民の皆様から広く意見を募集するため、パブリックコメントを実施し、令和5年度末までに「市民医療センター再整備基本計画」を策定します。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4～	
基本計画	部門計画 検討				素案 作成					計画案 検討		計画 策定		設計者 選定 ↓ 基本 設計
市民説明/ パブリック コメント	近隣住民 説明				市民説明会			パブリック コメント						

## 市民医療センター再整備スケジュール（案）

18

以下のスケジュールで進めることを想定しています。

年度	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)
基本設計	→					
実施設計		→				
建設工事			→			
新病院 開院					→	
解体工事						→
外構工事						→